

第 301 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2014 年 11 月 6 日(木) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 丸山 健太 氏 (大阪大学免疫フロンティアセンター・助教)

タイトル: 骨自然免疫系制御メカニズムの解明

関節リウマチに代表される炎症性骨破壊や骨粗鬆症による骨折は、超高齢化社会が解決すべき喫緊の課題である。近年、多彩な生物学的製剤の登場によって骨破壊治療に革命がもたらされつつあるが、その作用機序は骨形成・骨破壊のどちらか一方を標的としたものであり、長期使用によって真に望ましいアウトカムが得られるかどうかは不透明である。それ故、免疫系を調節しながら骨強度を高め骨折を予防できる理想の治療標的探索は依然として重要な研究課題である。我々は、遺伝子改変マウスを用いた自然免疫系と骨代謝系を同時に制御する因子を探究する過程で、これまで知られていなかった複数の骨自然免疫系制御因子、骨代謝調節因子を報告してきた(Maruyama et al, J. Immunol 2006, Maruyama et al, JBC 2012, Maruyama et al, Immunity 2012, Maruyama et al, JEM 2013)。本講演では、最近同定した世界初の「破骨細胞融合阻害分子」に関する知見を中心に最新の研究成果を概説したい。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 小林 泰浩